

3/4(金)の行事

はじめよう、つづけよう。

「新北海道スタイル」

～新型コロナウイルスに強い北海道をつくる～ 新北海道スタイル



報道発表資料の配信日時 2月 28日(月) 11時00分

発表項目 (行事名)	冬期の温室における水稲収穫(刈り取り作業)について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日() 時 分～	発表場所	
概要	<p>次のとおり温室で水稲の刈り取り(収穫作業)を行います。</p> <p>1 場 所 道総研上川農業試験場温室(上川郡比布町南1線5号)</p> <p>2 日 時 令和4(2022)年3月4日(金)午前10時00分～11時30分</p> <p>3 内 容 昨年夏期に上川農試および中央農試の交配作業で得られた種子(F₁世代)については、現在、上川農試温室で一括して冬季養成しており(昨年11月4日に田植え)、これを上記日時で刈り取り予定(F₂世代)。</p> <p>4 目 的 通常、道内の一般水田では年1作しか栽培できないイネ(水稲)について、冬季に温室で年2度目の栽培を行うことで、品種育成の期間(交配から品種になるまでの年数)を1年短縮することが可能となります。</p> <p>今回収穫される種子は、本年3月下旬に道総研道南農業試験場(北斗市)に送付され、大型温室で2期作(4～7月、8～11月の年2回栽培)を行うことで、さらに品種育成の期間を1年短縮することが可能になります。</p> <p>本年初冬に道南農試で得られた種子(F₄世代)は、来年令和5(2023)年春に上川農試および中央農試(岩見沢試験地)へそれぞれ返送され、4月以降水田で選抜試験が開始されます。</p>		
参 考			

報道(取材) に当たって のお願い	<p>① 可能な限り事前に連絡をお願いします。</p> <p>② 都合により日程を変更する場合があります(その場合は至急連絡いたします)。</p> <p>③ 作業時間が若干ずれる場合があります。</p> <p>④ 作業員への質問、写真撮影等は当日担当にご相談ください。</p>		
他のクラブ との関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担 当 (連絡先)	<p>地方独立行政法人北海道立総合研究機構 農業研究本部</p> <p>上川農業試験場 研究部 水稲グループ (担当者: 宗形 信也)</p> <p>電話 0166-85-4115(直通)</p> <p>E-mail: munekata-shinya@hro.or.jp</p>
--------------	---

冬期の温室における水稲収穫(刈り取り作業)に関する資料

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構
農業研究本部 上川農業試験場
水稲グループ

水稲の品種育成には長い年月を費やすことから、少しでもその期間を短縮するため、上川農試では1955年より冬期に温室を利用して世代促進栽培を行っています。本年度も雑種第一代(F₁, first filial generation)の養成を行っており、昨年11月4日に田植え(移植作業)を行った後、本年3月4日に刈り取り(収穫作業)を行う予定です(F₂世代)。

なお、北海道立総合研究機構(略称:道総研)における水稲の品種育成の効率化を目的に、2013年度から、中央農試(岩見沢試験地)で交配したF₁種子も同時に上川農試で養成しています。

上川農試では以下の目標で品種育成試験を進めています。

- ① 「ゆめぴりか」や「ななつぼし」に優る極良食味品種
- ② 「はくちょうもち」に優る多収で耐冷性、耐病性の優れたもち品種

中央農試では以下の目標で品種育成試験を進めています

- ① 「きらら397」に優る業務・加工用多収品種
- ② 「えみまる」に優る直播栽培可能な多収・良食味品種
- ③ 「吟風」「彗星」「きたしずく」に優る酒米品種

1. 試験目的

今年度夏期に人工交配を行い、収穫したF₁種子を冬期に温室で養成して、品種育成の期間(交配から品種になるまでの年数)を1年短縮する(世代促進栽培)。

2. 供試材料

- ・昨年夏期に交配した50組合せ(上川農試)および45組合せ(中央農試)、計約5,000株
- ・比較品種(「大地の星」、「ゆめぴりか」、「ななつぼし」、「きらら397」、「きたふくもち」、「きたゆきもち」、「はくちょうもち」、「風の子もち」)

3. 耕種作業概要

- ・播種日:2021年10月7日 ・移植日:2021年11月4日
- ・収穫日:2022年03月4日 ・栽植様式 条間:12cm、株間:12cm

4. 温室概要

- ・温室面積(1棟あたり):20.4m×6.3m=128.5m²、2棟使用
- ・水田ベッド面積(1ベッドあたり):18.0m×1.5m=27.0m²(内寸法)、1棟2ベッド
→ 27.0m²×4ベッド=108m²使用

5. 温室の温度設定

- ・昼:20℃—28℃
- ・夜:13℃—20℃

いずれも時期により異なる。

6. 今後の材料の流れ

乾燥、脱穀後 3 月下旬に 2 農試合わせて 100 組合せ程度を道南農試(北斗市)に送付します。道南農試では大型温室で 2022 年 4 月~7 月、同 8 月~11 月の 2 回栽培・収穫した後、2023 年 3 月までに両農試に返送します(F₄世代)。同年 4 月からそれぞれの試験用水田で栽培を行い、特性の優れたものを選抜します(個体選抜試験あるいは穂別系統選抜試験)。

今回温室で養成された試験材料が品種になるのは最も早くて 2030 年 2 月です。

水稲品種育成試験の流れ(薬培養は 2019 年度から休止)

